



「神戸市学校ICT整備計画」概要

＜計画の背景＞

グローバル化、情報化、少子高齢化等、社会の急速な変化に伴い、学校教育においても将来求められる姿の変化への対応が求められています。デジタルネイティブと呼ばれる、情報化の中で育っていくこれからの子どもたちに対し、21世紀を生き抜く力、学習・指導環境が求められます。

＜計画の目的＞

本市のICT教育の基本方針を明らかにするとともに「神戸市第5次総合計画」の目標達成と各施策の着実な実行をより現実的な計画とし、神戸市の子どもたちへ「生きる力」を育む特色ある教育の充実を目的とする。また、学校教育の充実による「移住定住」の促進を促す。

＜計画の位置づけ＞

「神戸市第5次総合計画」の基本構想・基本計画を踏まえた具体的な計画・方法、事業の実施スケジュールを実行計画として策定する。

＜基本方針・推進目標＞

1. 学習環境におけるICT活用の推進
 - ・ICT機器やデジタル教材等を授業でより効果的に活用できるようインフラ環境・ソフト面の充実を図る。
 - ・教員のICT活用力や授業力を高め、ICTを活用した教育機会創出の均一化に向けた支援体制強化。
 - ・新学習指導要領への対応
2. 校務環境におけるICT活用の推進
 - ・校務のICT化を進め、校務の効率化や教職員の事務負担の軽減を図ることで、児童生徒と向き合う時間を確保する。
 - ・家庭教育の推進と家庭・地域連携の推進を行う。
3. 情報セキュリティの強化
 - ・情報セキュリティ対策のための組織体制を明確化し、ICTを活用した情報セキュリティ対策強化、新たな情報セキュリティポリシーの策定とその研修体制の充実を図る。

【推進目標：学校情報化優良校認定の取得】

＜具体施策＞

1. 学習環境におけるICT活用の推進
 - ＜1＞小学校タブレット端末導入、Wi-Fi環境整備
 - ＜2＞ICT活用機会の創出
 - ＜3＞ICT支援による活用能力向上
2. 校務環境におけるICT活用の推進
 - ＜4＞統合型校務支援システム導入
3. 情報セキュリティの強化
 - ＜5＞教育情報セキュリティポリシーへの準拠
 - ＜6＞情報モラル教育
 - ＜7＞ICT教育推進協議の継続

神戸市第5次総合計画 ＜平成29年度～平成36年度＞

神戸市学校ICT整備計画 ＜平成30年度～平成33年度＞

未来を担う幼児・児童・生徒が、社会の変化に主体的に対応できる幅広い資質・能力を身に付け、自らの生涯を生き抜く力やその基盤を育成できるよう、幼稚園、小学校、中学校が連携して特色ある教育を進める。